

令和 8 年 第 4 回 鋸南町 議会 定例会 議事 日程〔総括表〕

令和 8 年 6 月 定例会

日程 第 1	会議録署名議員の指名	
日程 第 2	会期の決定	
日程 第 3	諸般の報告	
日程 第 4	一般質問 [5名]	
	① 秋山柳三議員	
	② 竹田和明議員	
	③ 鈴木辰也議員	
	④ 東愛乃議員	
	⑤ 大塚昇議員	
日程 第 5	発議案第 1 号	国における 2027 年度教育予算拡充に関する意見書 (案) について
日程 第 6	発議案第 2 号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書(案)に ついて
日程 第 7	議案第 1 号	鋸南地区環境衛生組合の解散に関する協議について
日程 第 8	議案第 2 号	鋸南地区環境衛生組合の解散に伴う財産処分に関する協 議について
日程 第 9	議案第 3 号	南房総市と鋸南町のごみ処理の事務委託に関する協議に ついて
日程 第 10	議案第 4 号	令和 8 年度鋸南町一般会計補正予算(第 1 号) について
日程 第 11	議案第 5 号	令和 8 年度鋸南町介護保険特別会計補正予算(第 1 号) について
日程 第 12	報告第 1 号	令和 7 年度鋸南町一般会計予算繰越明許費繰越計算書に ついて
日程 第 13	報告第 2 号	令和 7 年度鋸南町水道事業会計予算繰越計算書について
日程 第 14	請願第 1 号	武器輸出の制限緩和・拡大方針に反対し、平和外交の推 進と慎重な議論を求める意見書の提出を求める請願書に ついて

令和 8 第 4 回 鋸南町 議会 定例会 会期 日程表 (案)

自 6 月 1 0 日 (水) 至 6 月 1 2 日 (金)

会 期	月 日	曜 日	時 間	説 明
第 1 日	6 月 1 0 日	水	午前 1 0 時	開 会 会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、一般質問 (4 名) 散 会
第 2 日	6 月 1 1 日	木		休会 (議案調査のため)
第 3 日	6 月 1 2 日	金	午前 1 0 時	開 議 一般質問 (1 名) 発議案第 1 号から議案第 5 号の上程、説明、質疑、討論、採決 報告第 1 号及び報告第 2 号の説明 請願第 1 号の上程、説明、質疑、討論、採決 閉 会

一般質問一覧表

令和8年第4回鋸南町議会定例会

通告順	質問要旨	質問者	答弁者
1	<p>1. 竜島仲原地区の落石について</p> <p>① 今年の2月26日に落石があり、民家の裏側部分を大きく破損したが、その後の町の対策はどう考えているのか。</p> <p>② 崩落した現場はそのまま放置状態であるが、雨が多くなる時期に向かって現状のままだとまた崩落の危険性があるが、このまま放置していてもよいのか。</p> <p>③ 一番の問題は、そのすぐ横に通学トンネルがあるということ、そしてその上には落石した以上の亀裂の入った岩がむき出しになっているという現実があります。</p> <p>防災の観点からみても早急に策を講じるべきではないのか。</p> <p>④ 今後の見通しとし急傾斜危険地域に指定されるのはいつ頃になり、いつから工事が始まり、いつ完了する予定なのか。</p> <p>⑤ 緊急性をもって対応していただきたいが、例えば、県の単独事業で実施はできないのか。</p> <p>あるいは、道路法に基づく防災・減災対策は実施できないか。</p> <p>以上の点についてお聞きしたい。</p>	秋山柳三	町長
2	<p>1. 都市交流施設の財政実態</p> <p>都市交流施設（道の駅保田小）の指定管理者が作成した令和7年度の業務報告について、5月18日の議員全員協議会において町から説明が行われました。町からは成果だけが大きくPRされているものの、財政実態は町民の期待・想像とは大きく異なっていることが確認できます。私は、令和4年6月の定例議会において、「これでいい</p>	竹田和明	町長

のか周辺整備事業」というテーマで一般質問をし、町民の常識とかけ離れた計画であることを指摘しました。今4年の時を経て、懸念していた実態が明らかになりつつあるのではと実感しています。

(1) 赤字の実態

令和7年度の業務報告によれば、都市交流施設全体の営業損失はマイナス929万円です。前年度のマイナス460万円から赤字がほぼ倍増しています。

① この赤字について町はどう評価していますか。改善していると見ているのか、悪化していると見ているのか、明確にお答えください。

② 売上高は前年比増加しているにもかかわらず赤字が拡大した。経費増加額約970万円の内訳、特に人件費が占める金額と割合を示してください。

(2) 指定管理契約の構造的問題

業務報告および町の説明によれば、指定管理者は施設で働く従業員の人件費の18%を管理料として受け取る契約となっています。

① この理解で正しいですか。

② 人件費が増えれば増えるほど指定管理者の管理料収入も増える。つまりコストを抑制するインセンティブが制度上存在しない構造ではないですか。

③ 赤字の主因が人件費増大であると町自身が説明しています。その人件費増大から利益を得ている指定管理者と、赤字を容認せざるを得ない町との間で、利益が相反していると思いますが、いかがですか。

④ 次回更新時には、コスト抑制と収益向上の両方に指定管理者がインセンティブを持つ設計にすべきであり、指定管理契約を抜本的に見直し、人件費連動型から固定額または収

益連動型への変更を検討すべきだと考えますが、いかがですか。

(3) 町民への経済波及の実態

業務報告に示された直売所部門別売上高と町内構成比を確認します。

農産物1億400万円、町内比率98.7%、花卉類2,500万円、同86.1%、物産品2億9,300万円、同7.2%、食品5,000万円、同23.3%、酒類他3,900万円、同7.9%、合計5億1,150万円、同31.3%です。

① 売上最大品目である物産品2億9,300万円のうち、町内産はわずか7.2%、約2,100万円です。残り約2億7,200万円は町外産品です。来場者が購入したお土産の利益の大半は町外に流れている。これは都市交流施設が鋸南町の産業振興に貢献しているというより、町外産品の販売拠点となっている実態ではないですか。

② 直売所における町内産品比率について、数値目標と達成期限を設定していますか。

また、現状の31.3%を段階的に引き上げる具体的施策について検討はされていますか。

(4) PRと実態の乖離・説明責任

町はこれまで、来場者80万人・道の駅人気ランキング全国2位などをPRし、この事業を成功した事業として町民に説明してきました。

① この事業の成功を測る指標として、町は当初何を設定し、議会に説明してきたのですか。財務収支は目標に含まれていましたか。

② 営業赤字が継続・拡大していることを、町民に対して積極的に情報公開してきましたか。来場者数や順位のみを強調し、赤字の実態を説明してこなかったとすれば、説明責任を果たしていないのではないですか。

	<p>③ 総工費 22 億円は町民の税金です。交流人口増加という効果が、22 億円の投資と継続的な赤字運営に見合うものであることを、定量的に示せますか。</p> <p>④ 町は単式会計の報告書とあわせ減価償却費を含めた実質的な損益を毎年度試算し、議会・町民に公開すべきだと考えますが、いかがですか。</p> <p>また、町は本年 8 月から各区において町政報告会を実施する予定とのことですが、説明資料には実質損益を説明資料に盛り込み、実態の説明を行うべきだと考えますが、いかがですか。</p>		
3	<p>1. 行政改革について</p> <p>行政改革の目的は、地域の実情に応じた自主的な行政改革を進め、良質な公共サービスを効率的に実施することといわれています。</p> <p>鋸南町の行政改革の最大の課題は、人口減少で税収が減る一方、行政サービスの需要は増えるという構造的ギャップをどの様に埋めていくのか。</p> <p>人口減少・少子高齢化、財政状況の厳しさ、職員の負担増、地域公共交通の維持、人材確保の難しさ、公共施設の維持管理コストの増大、物価高、災害リスクなどの外部環境の変化等、人口減少・財政難・公共施設の老朽化・行政サービスの質の確保といった複数の課題が存在します。</p> <p>このように複数の課題が存在している中で町は、どの様に行政改革を進めていこうとしているのか、また、行政改革を進める中で、業務改善も行っていく必要があると考えるが、町の考えを伺います。</p>	鈴木 辰也	町 長
4	<p>1. 家庭系廃食用油の資源化に向けた、民間企業等との連携協定および回収体制の構築について</p>	東 愛乃	町 長

現在、本町では一般家庭から出る廃食用油について、定期的な資源ごみとしての拠点回収は行われておらず、基本的には住民が各自で固める、または布や紙に吸わせるなどして「可燃ごみ」として処分することが推奨されています。

しかし、油を多く含んだ生ごみは焼却効率を低下させ、処理コストを増大させる要因となります。また、住民にとっても、固める・吸わせるといった作業は心理的・物理的な負担となっており、結果として適切に処理されず、排水口に流されて環境汚染につながるリスクも否定できません。

本町が掲げる環境保全、そして持続可能なまちづくりを進める上で、この家庭系廃食用油の資源化は、ごみの減量による財政負担の軽減と、環境負荷の低減を同時に達成できる極めて有効な施策であると考えます。

そこで、以下3点について町の見解を伺います。

① 現状の認識について

本町において、家庭から出される廃食用油が年間どの程度「可燃ごみ」として廃棄されているか、その現状や課題について町はどのように認識しているか。

② 民間企業等との連携協定の検討について

E N E O Sをはじめとするエネルギー企業や、専門の回収業者、あるいは包括連携を結ぶコンビニチェーン等と「廃食用油の回収に関する連携協定」を締結し、民間のノウハウやインフラを活用した資源化に取り組む考えはないか。

③ 回収拠点の設置について

まずは町役場や中央公民館などの行政施設、あるいは町内の主要なスーパーや商店、コンビニ等に専用の回収ボックスを設置し、住民が手軽に「ペットボトルに入れて持

	<p>ち込める」ような拠点回収のスマールスタート（実証実験）から検討してみてもどうか、町の見解を伺います。</p> <p>2. デジタル技術を活用した公共施設利用予約のオンライン化について</p> <p>現状、本町の公共施設を予約する際、住民や利用団体は開庁時間内に窓口へ足を運ぶか、電話での確認が必要となっています。</p> <p>しかし、日中働いている現役世代や子育て世代にとっては、平日の昼間に連絡や手続きを行うことは容易ではありません。また、キャンセルが発生した際の情報共有もリアルタイムではなく、施設の有効活用（稼働率の向上）という観点からも機会損失が生じていると考えます。さらに、窓口での受付や現金領収、台帳管理は、職員にとっても小さない業務負担になっているのではないのでしょうか。</p> <p>民間や他自治体では、24時間スマホから空き状況を確認し、予約やオンライン決済まで完結できるシステムの導入が進んでいます。国交省等の調査でも、オンライン化によって施設利用率が約20%～27%向上したというデータがあり、これまで埋まらなかった平日の空き時間の解消や、町外からのスポーツ合宿・サークル需要の取り込みにも繋がると期待されます。</p> <p>コンパクトな自治体である鋸南町だからこそ、こうしたワンストップのシステムを導入することで、職員の事務負担を劇的に減らし、その分を他の住民サービスへ充てるのが可能になると考えます。</p> <p>そこで、以下3点について伺います。</p> <p>① 現在の公共施設（B&G海洋センター、公民館等）の予約受付・管理における職員の業務負担や、現在の稼働状況（課題）をどのように認識されているか。</p> <p>② 住民の利便性向上、および施設利用率の向</p>		町 長
--	---	--	-----

	<p>上に向けて、24時間予約可能なオンラインシステムの導入について、町としての見解はどうか。</p> <p>③ 高齢者層をはじめとする「デジタルデバイド（情報格差）」への懸念に対して、窓口併用などの配慮を行いながら段階的に進める考えはあるか。</p>		
5	<p>1. ドクターヘリの活動とランデブーポイント等に関して</p> <p>地域防災計画で、災害予防計画のヘリコプター臨時離発着場等の確保では、情報収集や救助・救急活動、救援物資・人員搬送、災害時など多岐にわたり大きな役割を果たすこととなるヘリコプターを有効活用するためには、緊急時の離発着場の確保が重要であり、町は地域防災計画に位置づけその確保に努めるとし、現在ヘリコプター臨時離発着場として指定されているのは、鋸南中学校及び岩井袋野球場の2カ所がある。</p> <p>一方、ドクターヘリと救急車及び消防隊のランデブーポイントでの活躍は、最近めざましいものがあります。</p> <p>ドクターヘリとは、救急医療に必要な医療機材、フライトドクター・ナースを乗せて直ちに救急現場などへ出動し、現場時より高度な医療を開始する「究極の往診システム」であり、救急現場から早期治療開始が可能になり、まさに「空飛ぶ救命救急センター」として医療活動を行っています。</p> <p>また、ランデブーポイントとは、「場外離着場」のことを言い、ドクターヘリと救急車が合流する中継地点を指します。</p> <p>そこで6点質問します。</p> <p>① 町のドクターヘリのランデブーポイントとしての指定場所は。</p> <p>② 岩井袋野球場には、月1回位の着陸使用が</p>	大塚 昇	町 長

あると聞いていますが、最近のドクターヘリの地域への活動実績は。

(千葉県には千葉北総病院の北総ドクターヘリと君津中央病院の君津ドクターヘリがあります)

- ③ 当該指定場所及びヘリ離発着場の管理者は。また、消防本部からランデブーポイント使用決定時の連絡受信部署は。
- ④ ランデブーポイントでは、消防隊がヘリの着陸地点の安全を確保してからドクターヘリがホバリングから着陸態勢に入りますが、砂埃が立つような場合は、散水をするときもあると聞いています。着陸場所は、一般的に35m×35m以上の平坦地で、障害物がなく、救急車が接車できる場所に設定されますが、最近、当町ランデブー場所に関して補修改善依頼等は、ありましたか。
- ⑤ ドクターヘリの活動や町のランデブーポイントに関して、ヘリコプターが接近時の協力事項や注意等を広報紙やホームページに最近載せたことがありますか。
- ⑥ その他関連として、緊急時避難場所の鋸南中学校で、特に、ヘリコプター使用の際に混乱が予想される避難場所等の臨時離発着場の区別等、所要の措置を講じるとしているが、どのようなことですか。